

令和５年度中学部２年（Ⅱ課程Ａグループ） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
112		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に触れ、親しんだり理解したりできる。(小学部3段階) (思判表力) 「聞くこと・話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。(小学部3段階) (学・人) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めることができる。(小学部3段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。アー(エ) (思判表力) 身近で経験したことについて、写真などを手がかりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (ア) (学・人) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めることができる。(小学部3段階)	(知・技) 言葉を繰り返したり、重ねたりすることで、語句を意味のまとまりとして捉えることができる。 (思・判・表) 難解語句については、写真やイラスト等を手がかりに相手がどのようなことを伝えたいのかを考え、意味を理解することができる。 (主学) 擬態語・擬音語を自分で例文を考え、使用することができる。	①文法 ・擬音語、擬態語	①1つの言葉の意味では難しいことがわかる。 ②言葉を重ねることで擬音語擬態語になることを理解する。 ③実際に擬音語・五対五の例文を作り、使用して楽しむことができる。
	15	(知及技) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くことができる。アー(ア) (思判表力) 日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすること。(ウ) (学・人) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めることができる。(小学部3段階)	(知・技) 絵本の登場人物には、それぞれの言い回しがあって、その内容には、様々な意味があることを理解する。 (思・判・表) 台詞や言い回しによって、日常使う言葉も使用されていることから、物語を親身に捉えることができる。 (主学) 絵本を読んで、感じたことや考えたことについて自分の感想を持ち、表現等を理解することで、より絵本に親しむ。	②絵本の読み取り	①絵本の中の言葉に気をつけながら、解らない言葉は例文等を使って、理解を深める。 ②絵本に使われた表現を楽しむようにする。 ③感じたことや面白かったこと等の感想を発表することができる。
	5	(知及技) 普段の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。アー(カ) (思判表力)文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。Ｂーウ (学・人) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めることができる。(小学部3段階)	(知・技) 言葉の違いに気を付けて、暑中見舞いを書いている。 (思・判・表) 自分の伝えたいことを、どのような語句を使い、どのような構成で書けば良いのかを考えて書いている。 (主学) 相手の近況を考えながら、暑中見舞いを書く。	③暑中見舞い作成	①葉書、暑中見舞いの書き方 ②身近な人や日頃お世話になっている人へ暑中見舞いを書く。
2 学期	44	(知及技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。アー(エ) (思判表力) 身近で経験したことについて、写真などを手がかりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (ア) (学・人) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めることができる。(小学部3段階)	(知・技) 会話の前後で、前文の内容を深めたり、その言葉を指示語に置き換える。 (思・判・表) 写真やイラストを見ながら、実際に指示語を使って相手に伝える。 (主学) 指示語を使った文章を作成し、発表し合うことで、指示語の理解を深める。	①文法 ・指示語	①簡単な文章を読んで、同じ言葉を使わずとも、指示語で代替できることに気づく。 ②実際に指示語を使って文章を考え、発表する。

	(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができるようにする。ウー(ウ)㊦ (思判表力) 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えることができるようにする。Ａーウ (学・人) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めることができる。(小学部3段階)	(知・技) 気持ちを込めて時候の挨拶や感謝の気持ちを丁寧に書くことができる。 (思・判・表) 年末年始の出来事をまとめ、話したり、書いたりする。 (主学) 相手がもらったうれしい年賀状について、考えながら書く。	②年賀状作成	①葉書、年賀状の書き方の復習。 ②身近な人や日頃お世話になっている人へ年賀状を書く。
--	---	--	---------------	--

3 学期	16	(知及技) 文の中における主語と述語との関係の意味が変わることを知ることができる。アー (ア) (思判表力) 身近で経験したことについて、写真などを手がかりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (ア) (学・人) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、図書	(知・技) 文章の中で、「誰が」は、主語、「どうした」は、述語ということが解る。 (思・判・表) イラストや写真から、「誰が」「どうした」という文章を提示し、実際にどのようなことをしたのかを理解する。 (主学) 主語、述語を意識しながら、文章を作成する。	①文法 ・主語ー述語	①「主語」「述語」について理解する。 ②文章中の「主語」「述語」がどれかが解る。 ③短文を使って「主語」「述語」について理解する。
	5	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ること。アー (イ) (思判表力) 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。B (学・人) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めることができる。(小学部3段階)	(知・技) お世話になった先生に、お礼の言葉を考えて、手紙にしたためる。 (思・判・表) 感謝の気持ちがより伝わるための文章の構成を考える。 (主学) 気持ちを込めて丁寧に手紙を書く。	②お礼の手紙の作成	①どの先生にお世話になったのかを考える。 ②お世話になったことや感謝したいことを考え、どのように表現及び構成するか考える。 ③感謝の言葉を添えて、尾鷲になった先生に渡す。
留意点引継ぎ等					

令和 5年度 中学部 2年（Ⅱ課程Aグループ） 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時間	教科書／副教材等	担当者名
42	なし	

目標：(知・技)知識及び技能 (思考力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
(知・技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことを関連付けて、調べまとめる技能に付けるようにする。 (思考力) 社会的現象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人) 社会に主体的に関わりようとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについて自覚を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	(知・技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思考力) 集団生活の中で何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現することができる。 (学・人) 身近な集団や社会に関わりようとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さを活かそうとすることができる。	(知・技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 集団生活の中で何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現しようとしている。 (主学) 身近な集団や社会に関わりようとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さを活かそうとしている。	社会参加ときまり 集団参加のためのルールを考えよう 道路の標識を調べよう	自己紹介 身近な家庭、学校、地域社会 集団参加のためのルール
	7	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割を知ることができる。 (思考力) 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。 (学・人) 身近な公共施設や制度の活用を学び、それらの役割を活かそうとすることができる。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割を知ろうとしている。 (思・判・表) 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現しようとしている。 (主学) 身近な公共施設や制度の活用を学び、それらの役割を活かそうとしている。	公共施設と制度 学校の公共物について 地域の公共施設について	身近な公共施設 公共施設を地図で探す
2 学期	8	(知・技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることを知ることができる。 (思考力) 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現することができる。 (学・人) 地域の安全に関わりようとする意欲をもち、地域の安全を守ることの大切さを学び活かそうとする。	(知・技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることを知ろうとしている。 (思・判・表) 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現しようとしている。 (主学) 地域の安全に関わりようとする意欲をもち、地域の安全を守ることの大切さを学び活かそうとしている。	地域の安全 火事から守っているのは誰？ 犯罪から守っているのは誰？ 災害から守っているのは誰？	消防署や消防士の仕事についてインターネットやビデオ等で調べる。 警察署と警察の仕事についてインターネットやビデオ等で調べる。 災害時のそれぞれの役割についてインターネットやビデオ等で調べる。
	8	(知・技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接に関わりをもって行われていることを知ることができる。 (思考力) 仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することができる。 (学・人) 生産に関する仕事と自分たちの生活との関わり合いの大切さについて自覚を養うことができる。	(知・技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接に関わりをもって行われていることを知ろうとしている。 (思・判・表) 仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現しようとしている。 (主学) 生産に関する仕事と自分たちの生活との関わり合いの大切さについて学び活かそうとすることができる。	産業と生活 スーパーやの人はどんな工夫をしているのだろうか？	近隣の小売店やスーパーなどで働く人の様子についてビデオを見て調べる。
3 学	6	(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子を知ることができる。 (思考力) 都道府県内における市の地形、土地利用などに着目して、場所の違いを考え、表現することができる。 (学・人) 身近な地域の様子に関心をもち、地域社会の中で生活することの大切さについて学んだことを活かそうとすることができる。	(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子を知ろうとしている。 (思・判・表) 都道府県内における市の地形、土地利用などに着目して、場所の違いを考え、表現しようとしている。 (主学) 身近な地域の様子に関心をもち、地域社会の中で生活することの大切さについて学んだことを活かそうとしている。	我が国の地理や歴史 私たちの住んでいる町はどのような様子なのだろうか？	身近な地域や市町村 学校の周りの道路の広さ、建物の様子を調べ、簡単な地図にまとめる。

期	(知・技) 外国の人々の生活の様子を大まかに知ることができる。 (思・判・表力) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。 (学・人) 外国の文化や生活に関心をもち、外国の文化を尊重する態度を養うことができる。	(知・技) 外国の人々の生活の様子を大まかに知ろうとしている。 (思・判・表) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現しようとしている。 (主・学) 外国の文化や生活に関心をもち、外国の文化を尊重し学んだことを活かそうとしている。	外国の様子 外国と日本、比べてみよう、同じこと、違うこと	世界の国々に暮らす人々の生活の様子や日本との違い 世界で何が起きているのかを調べる。 外国の衣服、料理、食事習慣、子どもの遊び、行事等についてインターネットやビデオ等で調べる。
---	--	--	---	--

令和 5 年度 中学部 2 年 (Ⅱ課程 A グループ) 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
112	「さんすう☆☆」等	

目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知・技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けることができるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力を養うことができるようにする。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、学習を振り返りよりよく問題を解決しようとする態度、学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	19	【A 数と計算】 (知・技) ・ 1000 までの数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりすることが分かる。…A 数と計算ア (ア) ㉞ ・ 3 位数の表し方について理解することができる。…A 数と計算ア (ア) ㉟ (思判表力) 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすことができる。…A 数と計算ア (イ) ㉞ (学・人) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用することができる。…中 1 段階	(知・技) ・ 1000 までの具体物を 100 ずつまとめて数えることができる。 ・ 一の位、十の位、百の位を理解して 3 桁の数字を読むことができる。 (思・判・表) 100 のまとまり、10 のまとまりに着目し、数の大きさを比べたり数え方を考えたりしながら 3 桁の数を書き表すことができる。 (主学) 具体物を自ら操作してまとまりを作ったり、学習活動に進んで参加しようとしている。 【評価資料】活動の様子を観察やプリントで評価する。	単元 1 「大きな数を数えよう」	・ 数タイル、100 玉そろばんなど半具体物を 10、100 のまとまりで数え、十進法に従った数を表す。まとまりで数えたものを位取り表 (ラミネート) を使って数字で書き表す。 ・ フラッシュ教材を活用し、3 桁の数字を読む。 ・ スーパーのチラシなどを使い、商品の値段を読む。
	18	【A 数と計算】 (知・技) ・ 2 位数の加法及び減法について理解し、その計算ができること、またそれらの筆算の仕方について知ることができる。…A 数と計算イ (ア) ㉞ ・ 簡単な場合について 3 位数の加法及び減法の計算の仕方を知ることができる。…A 数と計算イ (ア) ㉟ (思判表力) 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。…A 数と計算イ (イ) ㉞ (学・人) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用することができる。…中 1 段階	(知・技) ・ 2 桁の足し算または引き算の筆算ができる。 ・ 3 桁の足し算または引き算で、同じ位の数字どうしを計算することができる。 (思・判・表) 買い物をする時の合計やおつりの金額を出すために、足し算をするか引き算をするかが分かり、式を立てることができる。 (主学) 買い物をする際に、進んで商品を選んだり、支払いをしようとしている。 【評価資料】活動の様子を観察やプリントで評価する。	単元 2 「お小遣いの予算を立てよう！」	・ お小遣いの使い道を考え、筆算したり計算機で確認したりする。買い物予定表に買いたいものを計画し、式に表す練習をする。模擬買い物学習を行う。
	19	【B 図形】 (知・技) ・ 直線について知ることができる。…B 図形ア (ア) ㉞ ・ 三角形や四角形について知ることができる。…B 図形ア (ア) ㉟ ・ 正方形、長方形及び直角三角形について知ることができる。…B 図形ア (ア) ㊱ (思判表力) 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えることができる。…B 図形ア (イ) ㉞ (学・人) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする。…中 1 段階	(知・技) 正方形、長方形、直角三角形の特徴 (辺と頂点、直角)を理解している。 (思・判・表) 正方形、長方形、直角三角形の違いや共通点に気づき、表現することができる。 (主学) 自ら図形カードに触れたり形を組み合わせようとしている。 【評価資料】活動の様子を観察やプリントで評価する。	単元 3 「同じ形に分けよう」	辺や頂点の数、直角の場所を調べる。直角三角形を二つ組み合わせで形をつくるゲームをする。箱の分解・組み立て・作図を行う。

2 学 期	19	【C 測定】 (知及技) ・目盛りの原点を対象の端に当てて測定することができる。・・・C 測定ア (ア) ㊦ ・長さの単位〔ミリメートル (mm)、センチメートル (cm)、メートル (m)、キロメートル (km)〕について知り、測定の意味を理解することができるようにする。・・・C 測定ア (ア) ㊦ ・かさの単位〔ミリリットル (ml)、デシリットル (dl)、リットル (l)〕について知り、測定の意味を理解することができるようにする。・・・C 測定ア (ア) ㊦ (思判表力) 身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすることができるようにする。・・・C 測定イ (イ) ㊦ (学・人) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。・・・中 1 段階	(知・技) 1000 ml と 1 l が同等であることを理解している。 (思・判・表) ・長さに応じた計測器具を利用して計測し、正しい単位で表すことができる。 ・ペットボトル等で身近なかさの量感をつかむことができる。 (主学) 目盛りを見て数えようしたり、進んで量を比べようとしている。 【評価資料】活動の様子を観察やプリントで評価する。	単元 4 「いろいろなものを測ろう」 (1) 長さを測ろう (2) かさを比べよう	(1) 定規や ipad で測りたいものや場所を決め、予測し計測する。→「職業」と関連付ける (2) ペットボトルや牛乳パック、ヤクルトの容器の身近な飲み物の量を測ったり比べたりする。→「家庭」と関連付ける
3 学 期	19	【C 測定】 (知及技) ・時間の単位 (秒) について知ることができる。・・・C 測定イ (ア) ㊦ ・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。・・・C 測定イ (ア) ㊦ (思判表力) 時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。・・・C 測定イ (イ) ㊦ (学・人) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用することができる。・・・中 1 段階	(知・技) ・1 分 = 60 秒について理解している。 ・o 時間後(前)について理解している。 (思・判・表) アナログ時計の針を見て、作業時間終了の時刻に気づくことができる。 (主学) 時計に興味を持ち、針の位置や動きを確認しようとしている。 【評価資料】活動の様子を観察やプリントで評価する。	単元 5 「あと何分？」	アナログ時計で「o 分後」の予定時刻や「o 時 o 分まで」の残り時間を求める。時計の模型を用いて長針の動きを観察する。
	18	【データの活用】 (知及技) 身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすることができる。・・・D データの活用ア (ア) ㊦ (思判表力) 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりすることができる。・・・D データの活用ア (イ) ㊦ (学・人) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用することができる。・・・中 1 段階	(知・技) グラフから情報を読みとろうとした り、作成することができる。 (思・判・表) グラフの数値に注目して比較したり、特徴を読みとることができる。 (主学) 表やグラフの内容が一目で分かるよう表やグラフの項目を設定しようとしている。 【評価資料】活動の様子を観察やプリントで評価する。	単元 6 「人気メニューを調べよう」	給食のリクエスト献立や人気アニメなど、興味関心の高いアンケートデータを取り、棒グラフを作成する。パソコンソフトを用いる。
留意点引継ぎ等		・主に中学部 1 段階を想定。しかし特定の領域では、小 3 段階の内容も取り入れる場合も考えられる。 ・学習指導要領「数学科」における領域と学期を対応させて作成 (1 学期 : A 数と計算 2 学期 : B 図形・C 測定 3 学期 : D データの活用) ・行事や各教科と関連づけて学習内容を設定する。(販売学習・校外学習など)			

令和 5 年度 中学部 2 年 (II 課程 A グループ) 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
42	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能
(思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基礎を理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)身近な植物についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な植物について、疑問をもったことについて、既習の内容や生活経験を基に予想することができる。 (学・人)身近な植物について見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとすることができる。	(知・技)身近な植物を観察し、種類によって葉の様子が異なることに気付くことができる。 (思・判・表)身近な植物を観察し、比較する中で、差異点や共通点に気付き、分類することができる。 (主学)身近な植物を観察する活動を通して、自然に対する関心を深めようとしている。 【評価資料】活動の様子や、発問に対する答えを記録し評価する。	季節と生物 ・植物の分布と季節 ・植物の分類	・校内の植物を観察し、葉っぱスタンプや iPad の写真として記録する。 ・観察した植物の場所を記した「いきものマップ」を掲示物として作成する。 ・2、3 学期など観察時期を変え、記録や分類したものと比較し、季節による植物の変化について調べる。
	5	(知及技)水の三態や状態変化についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。 (思判表力)水の状態について、疑問をもったことについて、既習の内容や生活経験を基に予想することができる。 (学・人)温度変化に対する水の状態変化について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとすることができる。	(知・技)実験を通して水には三つの状態があることや温度の変化で状態が変化することに気付くことができる。 (思・判・表)状態変化について予想し、実験を通して確認することができる。 (主学)水の性質に関心をもち、それらを日常生活に活かそうとしている。 【評価資料】活動の様子や、発問に対する答えを記録し評価する。	雨水の行方と地面の様子 ・水の状態変化 ・水の循環	・ホットプレートで水を蒸発させたり、保冷剤で水蒸気を凝結させたりするなど、身近なもので状態変化の実験を行う。 ・海、山、川、太陽の位置関係と雨の行方を照らし合わせて考え、水の循環について知る。 ・水の循環と状態変化との関係性を考える。
2 学期	5	(知及技)空気や水の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。 (思判表力)空気や水の性質について、疑問をもったことについて、既習の内容や生活経験を基に予想することができる。 (学・人)空気や水の性質について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとすることができる。	(知・技)実験を通して空気に体積があることや空気に圧力をかけると体積が小さくなることに気付くことができる。 (思・判・表)見えない空気の状態について予想し、実験を通して確認することができる。 (主学)空気や水の性質に関心をもち、それらを利用したものを作ろうとしている。 【評価資料】活動の様子や、発問に対する答えを記録し評価する。	空気と水の性質 ・空気の圧縮 ・水の圧縮	・袋や風船を使って、空や水を閉じ込め、空気や水の性質について調べる。 ・空気のパネのような性質に気付かせ、簡単な空気鉄砲を制作し、玉の飛び様子を実験・観察させる。 ・空気にも重さがあるのか調べる。
	5	(知・技)日なたと日陰の観察を通して、太陽と日陰の位置関係や地面の暖かさの違いを理解することができる。 (思・判・表)物や色によって太陽の光を受けたときの暖まり方に違いがあることに疑問をもち、予想を立てることができる。 (学・人)太陽光のエネルギーを日常生活や社会生活に活かそうとすることができる。	(知・技)日なたと日陰の観察を通して、太陽と日陰の位置関係や地面の暖かさの違いを理解することができる。 (思・判・表)物や色によって太陽の光を受けたときの暖まり方に違いがあることに気づき、予想を立てることができる。 (主学)太陽の光のエネルギーに関心をもち、それを調理などの日常生活に活用しようとしている。【評価資料】活動の様子や、発問に対する答えを記録し評価する。	太陽と地面の様子 ・日なたと日陰 ・太陽光と色 ・ソーラークッカー	・日なたと日陰を観察し、暖かさの違いを肌で感じる。 ・太陽光を受けている物に触れ、暖まり方の違いを感じる。 ・虫眼鏡で太陽光を集め、色の違う画用紙の暖まり方を比べる。 ・ソーラークッカーで簡単な調理を行う。
	5	(知・技)風やゴムの力の働きについて気づき、観察、実験を通して初歩的な知識を技術を身につけることができる。 (思・判・表)風やゴムの力の働きの差異点や共通点に気づき、働きの大きさの違いは何から生じているのか疑問をもつことができる。 (学・人)風やゴムの力の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活に活かそうとすることができる。	(知・技)風やゴムの力は物を動かすことができることと、大きさを変えると物の動く様子も変わること理解している。 (思・判・表)風やゴムの力で物が動く様について調べる中で、物の動く様子の違いは何がもたらしているのか疑問にもち、予想を立てることができる。 (主学)風やゴムの力に関心をもち、それを日常生活に活用しようとしている。 【評価資料】活動の様子や、発問に対する答えを記録し評価する。	風やゴムの働き ・うちわと扇風機 ・ゴムの太さと長さ	・風で動く物をうちわで扇いだり、扇風機の風を当てたりして、物の動く様子を観察する。 ・ゴムの太さや長さ、本数を変え、元に戻ろうとする力の違いを観察する。 ・風やゴムの力を利用して、物を動かす距離を競い合う。
3 学期	5	(知・技)磁石に引きつけられる物とそうでない物があること、磁石同士は極によって引きつけられたり反発し合ったりすることを理解することができる。 (思・判・表)磁石に対する物の様子の違いに着目し、それらの共通点や差異点は何か疑問にもち、予想を立てることができる。 (学・人)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活に活かそうとすることができる。	(知・技)磁石には物を引きつける力があること、引きつけられる物とそうでない物があることを理解している。 (思・判・表)磁石に引きつけられる物の共通点は何か疑問にもち、予想を立てることができる。 (主学)磁石の性質に関心をもち、その性質を日常生活に活用しようとしている。 【評価資料】活動の様子や、発問に対する答えを記録し評価する。	磁石の性質・磁石とは ・磁石に引きつけられる物、そうでない物	・磁石を実際に扱いながら、その性質を学習する。 ・磁石を用いて、身のまわりの物を引きつけられる物、そうでない物に分類する。 ・磁石に引きつけられる物の共通点を材質について学習する。

	5	(知・技)電気には通り道があり、その通り道にはきまりがあることを理解することができる。 (思・判・表)電気の通す物、通さない物に着目し、それらの共通点や差異点は何か疑問にもち、予想を立てることができる。 (学・人)電気の通り道について進んで調べ、学んだことを日常生活に活かそうとすることができる。	(知・技)電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方、電気を通す物とそうでない物があることを理解している。 (思・判・表)電気を通す物とそうでない物の共通点は何か疑問にもち、予想を立てることができる。 (主学)電気の流れに関心をもち、安全な日常生活を送る知識として活かそうしている。 【評価資料】活動の様子や、発問に対する答えを記録し評価する。	電気の通り道 ・電気回路のきまり ・電気を通す物、通さない物 ・手回し発電機	・乾電池と豆電球を回路でつなぎ、電気を通す実験を行う。 ・身のまわりの様々な物質が電気を通すか通さないか確かめる。 ・手回し発電機で電気をつくり出す。
留意点引継ぎ等					

令和5年度 中学部2年（ II課程 A グループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
77	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。				
------	---	--	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	8	(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付くことができるようにする。思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な範唱を聴いて歌ったり,歌詞を見て歌ったりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができるようにする。 (学・人)進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	(知・技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付いている。思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な範唱を聴いて歌ったり,歌詞を見て歌ったりする技能を身に付けている。 (思・判・表)音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考え、歌唱表現に対する思いや意図を持っている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	曲の雰囲気を感じて歌おう音楽で心をつなげよう	「校歌」「友だちになれたらいいね」「月桃」手話ソング「小さな世界」「にじ」「手をつなごう」
	8	(知及技) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付くことができるようにする。簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能を身に付けるようにする。 (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができるようにする。 (学・人)進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	(知・技) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付いている。思いや意図にふさわしい表現をするために必要な、リズムや速度を意識して演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表)音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、器楽表現に対する思いや意図を持っている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	リズムや速度を意識して演奏しよう	「校歌」「月桃」「いろんな木の実」他ボディパーカッション「パブリカ」他
	10	(知及技) いろいろな音の響きの特徴に気付くことができるようにする。発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けるようにする。 (思判表力)音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら音楽づくりに対する思いをもつことができるようにする。 (学・人)進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	(知・技) いろいろな音の響きの特徴に気付いている。発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。 (思・判・表)音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音楽づくりに対する思いや意図を持っている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。	絵本のお話に合った音や音楽を創ろう	絵本と音楽 「私のワンピース」 ※効果音（楽器、iPad）
	8	(知及技) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり気付くことができるようにする。思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な範唱を聴いて歌ったり,歌詞を見て歌ったりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができるようにする。 (学・人)進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	(知・技) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いている。思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な範唱を聴いて歌ったり,歌詞を見て歌ったりしている。 (思・判・表)音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考え、器楽表現に対する思いや意図を持っている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	曲想を感じながら歌おう	「赤いやねの家」「もみじ」「ふるさと」「変わらないもの」手話ソング「カイト」等

2 学期	10	(知及技) 楽器の音色と全体の響きとの関わり に気付くことができるようにする。友達 の音や伴奏を聴いて、音を合わせて身 近な楽器や旋律楽器を使って演奏する 技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 器楽表現についての知識や 技能を得たり生かしたりしながら器楽 表現に対する思いをもつことができるよ うにする。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協 働して音楽活動をする楽しさを感じな がら、様々な音楽に触れるとともに、音 楽経験を生かして生活を明るく潤いの あるものにしようとする態度を養う。	(知・技) 楽器の音色と全体の響きとの 関わりについてわかっている。友達 の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合 わせて身近な楽器や旋律楽器を使っ て演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 音楽を形づくっている 要素を聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや面白さ、美しさを感じ取り ながら聴き取ったこととと感じ取った こととの関わりについて考え、器楽表 現に対する思いや意図を持っている。 (主学) 音や音楽に親しむことができ よう、音楽活動を楽しみながら主体的 ・協働的に器楽の学習活動に取り組も うとしている。	曲に合った楽器を選び演奏しよう三線に挑戦しよう	「カンカラ三線うむしるむん」他

	6	(知及技) 曲想とリズムや速度、旋律の 特徴との関わりについてわかるように する。 (思判表力) 鑑賞についての知識や技能 を得たり生かしたりしながら、曲や演 奏のよさなどを見いだして聴くことが できるようにする。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協 働して音楽活動をする楽しさを感じな がら、様々な音楽に触れるとともに、音 楽経験を生かして生活を明るく潤いの あるものにしようとする態度を養う。	(知・技) 曲想とリズムや速度、旋律の 特徴との関わりについてわかっている。 (思・判・表) 音楽を形づくっている 要素を聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや面白さ、美しさを感じ取り ながら聴き取ったこととと感じ取った こととの関わりについて考え、曲や演 奏のよさを見いだして聴こうとする思 いを持っている。 (主学) 音や音楽に親しむことができ よう、音楽活動を楽しみながら主体的 ・協働的に鑑賞の学習活動に取り組も うとしている。	楽器の音色の違いや旋律の特徴を感じ取ろう	木星（管弦楽組曲「惑星」から） 「動物の謝肉祭」他
	10	(知及技) いろいろな音の響きの特徴に 気付くことができるようにする。発想を 生かした表現、思いや意図に合った表 現をするために必要な、設定した条 件に基づいて、音を選択したり組み合 わせたりして表現する技能を身に付け るようにする。 (思判表力) 音楽づくりについての知識 や技能を得たり生かしたりしながらど のように音楽をつくるのかについて思 いや意図をもつことができるようにす る。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協 働して音楽活動をする楽しさを感じな がら、様々な音楽に触れるとともに、音 楽経験を生かして生活を明るく潤いの あるものにしようとする態度を養う。	(知・技) いろいろな音の響きの特徴に 気付いている。発想を生かした表現、思 いや意図に合った表現をするために必 要な、設定した条件に基づいて、音を 選択したり組み合わせたりして表現す る技能を身に付けている。 (思・判・表) 音楽を形づくっている 要素を聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや面白さ、美しさを感じ取り ながら聴き取ったこととと感じ取った こととの関わりについて考え、どのよ うに音楽をつくるのかについて思いや 意図を持っている。 (主学) 音や音楽に親しむことができ よう、音楽活動を楽しみながら主体的 ・協働的に音楽づくりの学習活動に取 り組もうとしている。	音の特徴を生かして音楽をつくろう	絵本と音楽 「おかしな好きな魔法使い」 「魔法の音楽」 ※効果音（楽器、iPad）
3 学期	10	(知及技) 曲想と歌詞の表す情景やイ メージとの関わり気付くことができる ようにする。思いや意図にふさわしい 歌い方で歌うために必要な範唱を聴 いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりで きるようにする。 (思判表力) 歌唱表現についての知識 や技能を得たり生かしたりしながら、 曲の雰囲気や合いそうな表現を工夫し 、歌唱表現に対する思いや意図をも つことができるようにする。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協 働して音楽活動をする楽しさを感じな がら、様々な音楽に触れるとともに、音 楽経験を生かして生活を明るく潤いの あるものにしようとする態度を養う。	(知・技) 曲想と歌詞の表す情景やイ メージとの関わりについてわかっている。 思いや意図にふさわしい歌い方で歌 うために必要な範唱を聴いて歌ったり 、歌詞を見て歌ったりしている。 (思・判・表) 音楽を形づくっている 要素を聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや面白さ、美しさを感じ取り ながら、聴き取ったこととと感じと ったこととの関わりについて考え、歌 唱表現に対する思いを持っている。 (主学) 音や音楽に親しむことができ よう、音楽活動を楽しみながら主体的 ・協働的に歌唱の学習活動に取り組も うとしている。	思いを込めて歌おう	卒業式の歌
	7	(知及技) 曲想とリズムや速度、旋律の 特徴との関わりについてわかるように する。 (思判表力) 鑑賞についての知識や技能 を得たり生かしたりしながら、曲や演 奏のよさなどを見いだして聴くことが できるようにする。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協 働して音楽活動をする楽しさを感じな がら、様々な音楽に触れるとともに、音 楽経験を生かして生活を明るく潤いの あるものにしようとする態度を養う。	(知・技) 曲想とリズムや速度、旋律の 特徴との関わりについてわかっている。 (思・判・表) 音楽を形づくっている 要素を聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや面白さ、美しさを感じ取り ながら聴き取ったこととと感じ取った こととの関わりについて考え、曲や演 奏のよさを見いだして聴こうとする思 いを持っている。 (主学) 音や音楽に親しむことができ よう、音楽活動を楽しみながら主体的 ・協働的に鑑賞の学習活動に取 り組もうとしている。	日本や郷土の音楽に親しもう	「春の海」「さくらさくら」 「滝落とし」「ていんさぐぬ花」 等
留意点引継ぎ等					

令和5年度 中学部 2年(Ⅱ課程A) 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名	
77		・クレヨン、マジック、絵の具等の画材 ・画用紙、ボンド、スチロール版 ・描画補助具、ipad、大型テレビ等				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度						
年間目標		(知・技)造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けることができる。(中1段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。(中1段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
年間を通して指導		(思判表力)自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。	(思判表力)作品制作を通して、頑張ったことや表現など工夫したところが述べられ、他者の作品など自分なりの感想や良さを発表することができる。	「鑑賞会」	・出来上がった作品を展示する。ワークシートを活用する。 ・自他の作品を見て感想を発表する。 ・作品を実際に使い良さを味わう。	
1学期	25	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。 (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることににより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(知及技) クレヨンやマジックペン、絵の具など、生徒が表現したい用途に合わせて画材や材料を選び、取り組んでいる。 (思判表力)経験や思い描いたことを描がいている。表現を工夫しながら表現したいことを描いている。自分なりの感想を述べたり作品に向き合う様子や発想を教師に伝えたり、表現しようと努力する様子など。 (学・人)教師への質問や相談、生徒同士の会話や調べ学習などを通して、表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。よりよい表現や作品を作ろうと努力が見られる。	「オリエンテーション」 「いろいろ色遊び」 「自分の夢を描こう」	・「自分」と「好きなもの」をイメージして丁寧に描く。 ・将来の就職したい職業を調べ平面に描く。 ・鉛筆、クレヨン、色鉛筆、水彩絵の具、ポスターカラー等を用いた制作。	
2学期	32	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。 (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることににより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(知及技) 切る・破る・貼るなど、生徒が表現したい用途に合わせて画材や材料を選び、取り組んでいる。 (思判表力)経験や思い描いたことを基に、表現を工夫しながら形作ろうとしている。自分なりの感想を述べたり作品に向き合う様子や発想を教師に伝えたり、表現しようと努力する様子など。 (学・人)教師への質問や相談、生徒同士の会話や調べ学習などを通して、表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。よりよい表現や作品を作ろうと努力が見られる。	【立体表現】 「張り子の立体作品作り」	・実物や画像、動画資料を見せて出来れば、香りや触れてみる。ワークシートに感想を記述する。 ・見通しを持たせる為、制作手順などを紹介する。 ・紙粘土やボンド水などで少しずつ形作る。 ・成形に必要な用具の使い方の学習を行う。 ・教師の最小限の手添えで立体制作に取り組む。 ・どの色や道具を選ぶか教師が声かけなど、生徒本人に選択させる。	
3学期	20	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。 (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることににより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。 (思判表力)自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白	(知及技) 生徒が表現したい用途に合わせて画材や材料を選び、取り組んでいる。 (思判表力)イメージした表現にしようと工夫しながら構成している。自分なりの感想を述べたり作品に向き合う様子や発想を教師に伝えたり、表現しようと努力する様子など。 (学・人)教師への質問や相談、生徒同士の会話や調べ学習などを通して、表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。よりよい表現や作品を作ろうと努力が見られる。 (思判表力)作品制作を通して、1年間で頑張ったことや表現など工夫したところが述べ	【版画】 ・コラグラフ ・スチロール版画 画 		

		さに気づき，自分の見方や感じ方を広げることができる。	られ、他者の作品など自分なりの感想や良さを発表することができる。		・ 作品を実際に使い良さを味わう。
留意点引継ぎ等					

令和 5 年度 中学部 2 年（Ⅱ課程 A グループ）保健体育 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
77	新しい保健体育（東京書籍）	

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身につけるようにする。【中学部 1 段階】 （思判表力）各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。【中学部 1 段階】 （学・人）各種の運動に進んで取り組み、決まりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動する態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。【中学部 1 段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（知及技）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともにその行い方がわかり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めることができる。 （思判表力）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学・人）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動ができる。	（知・技）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともにその行い方がわかり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めようとしている。 （思・判・表）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 （主学）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。	① 体づくり運動 ・体操、ダンス ・5 分間走	・伸び伸びとした動作で行う運動。（ストレッチ体操等） ・リズムに乗って行う運動。（ツバメダンス、ラジオ体操等） ・歩いたり、走ったりする運動。 ・校外学習
		（知及技）体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。 （思判表力）自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。	（知・技）体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。	②保健分野 ・病気の予防 ・体のしくみ ・体の発育 ・応急処置	・水泳の事前学習で「衛生」や「規則正しい生活」についての学習を行う。 ・身体測定を通して、自分自身の成長と友だちとの違いを学習する。
一学期	8	（知及技）球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 （思判表力）球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりすることを他者に伝えることができる。	（知・技）球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 （思・判・表）球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりすることを他者に伝えようとしている。	③球技（ボウリング）	・スライダーを使い球を転がす。 ・倒したピンを数える。 ・シューターの向きを調整する。 ・個人戦と団体戦の試合を行う。
	10	（知及技）陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方がわかり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 （思判表力）陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学・人）陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動ができる。	（知・技）陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方がわかり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 （主学）陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。	④陸上競技（短距離走・リレー）	・決められた短い距離を自分なりの方法で走ったり、歩いたり、電動車いすで移動したりする。 ・自分のコースを走る練習 ・バトンパスの練習
	8	（知及技）初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 （思判表力）初歩的な泳ぎについて自分の課題を見つけその解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 （学・人）初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動ができる。	（知・技）初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）初歩的な泳ぎについて自分の課題を見つけその解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 （主学）初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。	⑤水泳	・水慣れ（シャワー・足浴・顔つけ） ・水中ウォーキング ・ビート板等の浮き具を使用した活動 ・浮力を利用して様々な動きを行う活動。

二学期	20	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自分の議題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりすることを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。	(知・技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思・判・表) 球技についての自分の議題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりすることを他者に伝えようとしている。 (主学) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとする。	⑥球技（コントロールアタック, ティーベースボール）	(コントロールアタック) ・指定した場所から指定した的を狙い投げたり、ねらう的を自分で決め投げる活動。 ・個人戦、チーム戦の試合（ティーベースボール） ・ティーに置かれたボールをバットにあてる活動。 ・素早く一塁まで移動する活動。 ・転がってきたボールをキャッチしたり、触れる位置まで移動する活動。 ・試合
	10	(知及技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。 (思判表力) ダンスについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。	(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ろうとする。 (思・判・表) ダンスについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとする。 (主学) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとする。	⑦運動会の取り組み（エイサー等）	・前回の運動会の鑑賞 ・曲に合わせてパーランクーを叩く。 ・動画を見ながら振り付けを覚える。
三学期	11	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自分の議題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりすることを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。	(知・技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思・判・表) 球技についての自分の議題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりすることを他者に伝えようとしている。 (主学) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとする。	⑧球技（車いすサッカー）	・大ボールを手で押したり、車いすを操作しながら押したりする活動。 ・動いているボールを止める運動。 ・ゴールに向かってボールを押し転がし、得点したりする運動。
	10	(知及技) 年間を通して取り組んだ活動内容を思い出すことができる。 (思判表力) これまでの活動の中から、もう一度挑戦したいことを選ぶことができる。 (学・人) 友だちと作戦を立て、楽しく安全に活動することができる。	(知・技) 年間を通して取り組んだ活動内容を思い出そうとしている。 (思・判・表) これまでの活動の中から、もう一度挑戦したいことを選ぶようとしている。 (主学) 友だちと作戦を立て、楽しく安全に活動しようとしている。	⑨チャレンジカップ	・動画や記録を通して、1年間の取り組みを確認する。 ・好きな競技を選ぶ。 ・皆と選んだ競技の内容やルールを再確認してゲームを行う。
留意点引継ぎ等					

令和5年度 中学部 2年（Ⅱ課程Aグループ） 職業・家庭（職業分野） 年間
指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等		担当者名	
77		「職業・家庭 たのしい職業科」・iPad、スイッチ教材、パソコン、大型テレビ等			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 職業について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(中1段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する		「働くとは」 (知及技) ・職業の授業目標を理解することができる。(中1段階 A 職業生活ア (ア)) ・活動内容を理解し、目標をもつことができる。(中1段階 A 職業生活ア (イ)) (思・判・表) ・自分の役割が理解できる。(中1段階 A 職業生活ア (イ)) ・あいさつや、言葉使いが丁寧にできる。(中1段階 A 職業生活ア (ア)) (学・人) ・将来の職業生活の実現に向けて、社会人としてのマナーを身につけようとする実践的な態度を養う。(中1段階 A 職業生活イ (イ) ⑦)	(知及技) ・ミーティングで作業内容を確認し、本時の課題達成に向けて手順を考えて行動しようとしている。 (思・判・表) ・場に応じた挨拶や返事、表現をしようとしている。 ・敬語で話しかけると敬語で返事している。 (学・人) ・社会人としてのマナーを身につけ、実践しようとしている。	「働く」ってどういうこと？・挨拶	ミーティング（作業前後） ・自分のこと、働くこと、進路について考える ・社会人のマナー（返事、報告）の練習 ・正しい話の聞き方、発言の仕方 ・挨拶の仕方 ・正しい身だしなみ（気温に合った衣服の選択） ・休み時間の過ごし方
1 学期	25	①オリエンテーション (知及技) ・働くことの目的を考えることができる。 ・職業の授業目標を理解することができる。 ・活動内容を理解し、目標をもつことができる。 (思判表力) ・将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考えようとする態度を養う。 (学・人) ・実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 ②季節野菜の栽培 (知及技) ・季節の野菜・草花を育成するための基礎的な知識や技能を理解することができる。 (思判表力) ・季節の野菜・草花の苗を移植するための道具を選んだり、移植の方法を自分で考えることができる。 (学・人) ・季節の野菜・草花の収穫実現に向けて、主体的に活動に取り組む態度を養う。	(知・技) ・働くことの目的を理解しようとしている。 ・授業の目標や活動内容を理解しようとしている。 (思・判・表) ・卒業後の職業生活に必要な課題を設定しようとしている。 ・学習したことを生かして設定した課題を解決しようとしている。 (知・技) 野菜や草花の成長や変化について、具体的にどの部分が成長や変化しているか説明することができる。 (思・判・表) 植物を移植する時、植物の根っこの状態や成長に合わせて、自分で考えて道具を使い分けしている。 (主学) 植物の実の大きさや花の変化に関心を持ち、活動に参加しようとしている。 【評価資料】活動の様子を観察して評価する。	①オリエンテーション ・社会人としてのマナーを身に付けよう 【社会参画、公共の精神】 ・「働く」ってどういうこと？ ②「季節野菜の栽培」 ・種まき ・土作り ・鉢上げ ・水かけ ・収穫 【勤労】	①オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の目標確認 ②「季節野菜の栽培」 ・ピンセットや補助具を利用して種まきをしよう ・土と堆肥を混ぜて土作りをしよう ・十分な水やりをしよう ・収穫方法を学ぼう
2 学期	32	③情報機器の活用 (知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作を教師と一緒にすることができる。 (思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことを他者に伝えることができる。 (学・人) コンピュータ等の情報機器を使って生活を工夫しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) コンピュータ等の身近な情報機器の初歩的な操作を教師と一緒にを行っている。 (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことを自分なりの表現で他者に伝えている。 (主学) コンピュータ等の情報機器と身近な生活についての関連に気付き、生活を工夫する方法について教師と一緒に考えている。 【評価資料】活動の様子を観察して評価する。	③情報機器の活用 「情報機器に触れよう」 職業生活 「模擬販売の準備をしよう」 【向上心、個性の伸長】	③情報機器の活用 ・スイッチ教材で遊ぼう ・タブレット端末を使ってみよう (いろいろなアプリやゲーム) ・写真や動画を撮影しよう ・テレビ電話でコミュニケーション・模擬販売に向けて、チラシや看板を作ろう！

3 学 期	20	④草花販売を実践してみよう (知及技) ・物を販売するための基礎的な知識や方法を理解することができる。 (思判表力) ・買い物しやすい環境を自分で考え課題を解決することができる。 (学・人) ・収穫した野菜や草花の完売に向けて、主体的に活動に取り組む態度を育てる。	(知・技) 販売に必要とされる実践的な知識や方法を理解することができる。 (思・判・表) 買い物しやすい環境を自ら考え工夫し、表現している。 (主学) 安価での価格設定や販売時の値段の交渉について関心を持ち、主体的に活動に参加している。 【評価資料】 活動の様子を観察して評価する。	④草花販売を実践してみよう ・種まき ・土作り ・鉢上げ ・水かけ ・収穫 ・販売準備 【勤労】 【感謝】 【礼儀】 【個性の伸長】	④「季節の野菜・草花の生育」 ・ピンセットや補助具を利用して種まきをしよう ・土と堆肥を混ぜて土作りをしよう ・十分な水やりをしよう ・収穫方法を学ぼう ・販売の挨拶を復唱またはロールプレイング
留意点引継ぎ 等					

令和5年度 中学部2年（Ⅱ課程A） 職業・家庭（家庭分野）年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等		担当者名	
77		「職業・家庭 たのしい家庭科」「新しい家庭科5・6」「うちなあーのくすいむん くわっちーさびら」			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 家庭の中の自分の役割に気付き、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力)家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど、日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。(中1段階) (学・人)家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	16	(知及技) 製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 (思判表力) 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけることができる。 (学・人) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践することができる。	(知・技) 製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にしようとしている。 (思・判・表) 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけようとしている。 (主学) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	ひと針に心をこめて ・基礎ぬい ・マスクケース作り	生活を豊かにするための布を用いた手ぬいの製作について、「健康・快適・安全」の視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、製作計画を考え、製作を工夫し、活動する。
	6	(知及技) 住まいの整理・整とんや清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 (思判表力) 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。 (学・人)家族の一員として、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	(知・技) 住まいの整理・整とんや清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 (思・判・表) 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。 (主学)家族の一員として、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	身の回りや生活の場を見つめよう 身の回りをきれいにしよう	身の回りを気持ちのよい場所にするために必要な仕事を見つけよう。 整理・整とんやそうじの必要性が分かり、それらの適切な仕方を考え、手順に沿って実践しよう。
	4	(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにすること。 (思判表力) 簡単な調理計画について考えること。 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ること。	(知・技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにすること。 (思・判・表) 簡単な調理計画について考えること。 (主学) 作業や実習等で達成感を得ること。	簡単なおやつを作ろう	幼児の間食作りを体験し、幼児への理解を深める。
	20	(知及技) 家庭には、家庭生活を支える仕事があり、たがいに協力し分担する必要があることについて理解している。 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取りあつかい及び加熱用調理器具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切に使用できる。 (思判表力) 家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定している。 (学・人) 家族の一員として、家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	(知・技) 家庭には、家庭生活を支える仕事があり、たがいに協力し分担する必要があることについて理解している。 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取りあつかい及び加熱用調理器具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切に使用できる。 (思・判・表) 家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定している。 (主学) 家族の一員として、家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	どんな生活をしているのかな自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう	家庭で使う用具を知り、その用具を使って活動してみよう。(家庭の仕事、家族の協力)を与え、家庭の仕事と自分との関わりを具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
2 学 期					

	7	(知及技) 買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 (思判表力) 身近な物の選び方、買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (学・人) 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。	(知・技) 買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 (思・判・表) 身近な物の選び方、買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (主学) 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。	上手に選ぶために考えよう 買い物の仕方について考えよう	買い物の仕方について考えよう 買い物の仕方について考えよう
--	---	---	---	--------------------------------	----------------------------------

3 学期	6	(知及技) 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取りあつかい及び加熱用調理器具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切に使用できる。 材料に応じた洗いや、調理に適した切り方、味の付け方、盛りつけ、配膳及び後かたづけを理解しているとともに、適切にできる。 材料に適したゆで方を理解しているとともに、適切にできる。 (思判表力) おいしく食べるためにゆでる調理の計画や調理の仕方についてさまざまな解決方法を考え、工夫している。 (学・人) ゆでる調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	(知・技) 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取りあつかい及び加熱用調理器具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切に使用できる。 材料に応じた洗いや、調理に適した切り方、味の付け方、盛りつけ、配膳及び後かたづけを理解しているとともに、適切にできる。 材料に適したゆで方を理解しているとともに、適切にできる。 (思・判・表) おいしく食べるためにゆでる調理の計画や調理の仕方についてさまざまな解決方法を考え、工夫している。 (主学) ゆでる調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	ゆでる調理をしよう	食品や調理の目的に合ったゆで方が分かり、安全に野菜やいもなどがゆでられるようになろう。 (調理法、ゆでる調理のよさなど)を与え、調理の目的や手順を具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
	18	(知及技) 食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切にできる。 (思判表力) 食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 (学・人) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	(知・技) 食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切にできる。 (思・判・表) 食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 (主学) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	食べて元気！ご飯とみそ汁	食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。
留意点引継ぎ等					

令和5年度 中学部（Ⅱ課程Aグループ） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
42	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近な生活で見聞きする外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 (思判表力)身近な事柄について、外国語で伝え合う楽しさを知る。 (学・人)外国語を通して外国語やその背景にある文化の違いに触れ、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	12	(知及技) ① 英語のあいさつ表現や天気の違い方を使ってあいさつすることの楽しさを知ることができる。 ② 英語での物の数え方の特徴を知り、数の言い方や、いくつかあるかたずねる表現に慣れ親しむことができる。 ③ 家族など身の回りの英語に関心を持つことができる小(1)英語の特徴事項ア (思判表力) ④ 色の言い方に慣れ親しみ、英語で好きな色を表現しようすることができる。小(1)英語の特徴等項ア (学・人) ①②③④相手に関心を示しながらコミュニケーションを図ろうすることができる。 小(2)伝えたりする力の素地事項イ	(知・技) ①英語のあいさつや天気の違い表現が分かり、表現しようとしている。 ②英語の数え方と日本語との違いに気付き、表現しようとしている。 ③自分の家族メンバーを英語で表現しようとしている。 (思・判・表) ④好きな色を選び英語で表現しようとしている。 (主学) ①②③④興味関心を持って取り組もうとしている。	①あいさつ・天気 ②数 ③家族 ④色	①自己紹介、はじめのあいさつ、天気 ①～10、20～31 ②How many ～？ ③家族メンバーの名称 ③家族紹介 ④色 ・ I like ～. I don't like ～.
2 学 期	18	(知及技) ①形の言い方に慣れ親しみ、聞いて表現しようすることができる。小(1)英語の特徴事項ア (思判表力) ②外国の季節の行事について知り、文化や風習に触れることができる。小(1)英語の特徴事項イ(イ) ③食べものに関する語句を知り、英語表現を使って好きな食べものや食べたいものを伝えようすることができる。小(2)表現、伝えたりする力の素地事項イ ④基本的な英語での手紙の書き方に触れることができる。小(2)表現、伝えたりする力の素地事項イ(ア) ④外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に触れることができる。小(1)英語の特徴事項イ(イ) (学・人) ①②③④相手に関心を示しながらコミュニケーションを図ろうすることができる。 小(2)表現、伝えたりする力の素地事項イ	(知・技) ①物の形の英語を聞いて、教師と一緒に発音しようとしている。 (思・判・表) ②外国の文化に触れたり、コミュニケーションを取ろうとしている。 ③自分の好きな食べ物や食べたいものを英語で表現しようしたり、友達に伝えようとしている。 ④簡単な英語の手紙の書き方やカード作りを通して外国の文化に触れ、自分の気持ちを表現しようとしている。 ④外国の文化に触れ季節の行事の違いに気付き、楽しく体験しようとしている。 (主学) ①②③④興味関心を持って取り組もうとしている。	①形 ②ハロウィーン ③食べもの ④ホリデイ シーズン	①形の種類 ②ハロウィーン ③食べもの ・ I want to eat/ drink / have ～. ・ What do you like? ④クリスマスカードづくり ④外国の年末年始の過ごし方
3 学 期	12	(知及技) ①新年、冬の季節に関する英単語に慣れ親しむことができる。小(1)英語の特徴等に関する事項イ(イ) ①顔のパーツ、上下左右の表現を知ることができる。小(1)イ英語の特徴等に関する事項(イ) (思判表力) ②感謝の気持ちを伝えたり、相手の良いところに気づくことができる。小(2)表現、伝えたりする力の素地事項ア ③1年間で学習した内容を振り返ることができる 小(1)英語の特徴等に関する事項ア 小(2)表現、伝えたりする力の素地事項イ (学・人) ①②③相手に関心を示しながらコミュニケーションを図ろうすることができる。	(知・技) ①季節を表す英語を聞いて、教師と一緒に発音しようとしている。 ①顔の部分を表す英語を聞き、教師と一緒に福笑いを楽しみコミュニケーションを取ろうとしている。 (思・判・表) ②感謝を表す英語表現を聞き、相手に伝えようとしている。 ③学習した英語の語句や表現を使って伝えようとしている。 (主学) ①②③興味関心を持って取り組もうとしている。	①新年を祝おう ・ 世界の正月 & 日本の正月 ・ おみくじ ・ 福笑い ②感謝の気持ちを伝える ・ バレンタインズデー ③1年間のまとめ	①新年のあいさつ、外国の新年、干支(Zodiac animals)、おみくじ ①福笑い ②感謝の表現 (Thank you card)、バレンタインズデー ③既習語句や表現の振り返り

		小(2)表現、伝えたりする力の素地事項イ			
留意点引継 ぎ等					

令和 5 年度 中学部 2 年 (II課程 A グループ) 道徳 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
35		「カラーモンスター」等			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	気持ちの良い挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようすることができる。	気持ちの良い挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようとしている。	礼儀	はきはきとした気持ちの良い挨拶や言葉遣い、話の聞き方や食事の所作などの具体的な振る舞い方を学び、実践できるようにする。
	7	生きることの素晴らしさを知り、生命を大切にすることができる。	生きることの素晴らしさを知り、生命を大切にしようとしている。	生命の尊さ	生きている証に気づき、自分の誕生を心待ちにしていた家族の思いや、愛情をもって育ててくれた家族の思いを知り、生命の大切さを学ぶ。
2 学期	7	自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活を行うことができる。	自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をしようとしている。	節度、節制	自己評価シートの作成：生徒に自己評価シートを作成させ、自分ができることとできないことを洗い出し、改善点を考える。 安全対策の学習：日常生活や緊急時に必要な安全対策について学習し、安全に気を付けるための行動を確認する。
	7	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくることができる。	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくらうとしている。	よりよい学校生活、集団生活の充実。	学級活動や学校行事において、チームワークを意識し、協力して取り組む。先生や職員のお手伝いをする。例えば、教室の机や椅子の整理、休み時間の監視、掃除など。
3 学期	7	友達と仲良くし、助け合おうとすることができる。	友達と仲良くし、助け合おうとしている。	友情、信頼	友達と協力したり。助け合ったりする中で、友達のよさを実感し、友達と仲良くする大切さを学ぶ。
留意点引継ぎ等		・年間を通して行う。 ・行事や各教科と関連づけて学習内容を設定する。(販売学習・PTA バザー・修学旅行・校外学習など)			

令和5年度中学部2年（II課程A） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができる。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだしたり関心を広げたりすることができる。 (思判表力) 自分の関心のあることや楽しさを感じることにについて、自分で考え、伝えることができる。 (学・人) 自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組むことができる。	(知・技) 身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだしたり関心を広げたりしている。 (思・判・表) 自分の関心のあることや楽しさを感じることにについて、自分で考え、伝えている。 (主学) 自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「自分や友達の好きなことや得意なことを知ろう」 「自分の家族を紹介しよう」 「キャリアパスポートの取組み」	・自分のことや家族のこと、友達のことを知る ・わかったことを掲示したり、発表したりする ・個人目標の設定（年間・学期） ・1学期の振り返り
	3	(知及技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) 意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」 「ビジネスマナー」	・進路学習会（講話を聞いて、自己の将来について考える）
	3	(知及技) 郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 (思判表力) 平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えることができる。 (学・人) 教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもつことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	(知・技) 郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 (思・判・表) 平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えている。 (主学) 教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもち、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「平和学習」	・絵本や映像から平和について学ぶ ・パネル展示見学 ・「平和について」話し合い、お互いの考えを知ろう
	3	(知及技) 地域の施設について知ることができる。郷土の行事や文化について知ることができる。 (思判表力) 地域の施設、郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、意見や考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 地域の施設や郷土の文化についての学習に主体的・協働的に取り組むことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	(知・技) 地域の施設や郷土の文化について知っている。 (思・判・表) 地域の施設、郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、考えたことを他者に伝えている。 (主学) 地域の公共施設や郷土の文化についての学習に主体的・協働的に取り組み、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「地域の施設」 「郷土の文化」	校外学習 ・地域の施設について調べる(情報を集める、意見をまとめる、発表する) ・郷土の文化について調べる
	3	(知及技) 自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知ることができる。 (思判表力) 現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) 自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知っている。 (思・判・表) 現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 (主学) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・2学期の目標設定・2学期の振り返り

2 学期	4	(知及技) 自分の周り（地域や学校）で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知ることができる。 (思判表力) 自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けることができる。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えることができる。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) 自分の周り（地域や学校）で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知っている。 (思・判・表) 自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けている。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えている。 (主学) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「地域や学校、自分の周りで働く人」	・地域や学校、自分の周りで働く人について調べる ・お互い調べたことについてまとめ、話し合う

	4	(知及技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「就業・生活体験」	・就業・生活体験 ・事前事後学習
	3	(知及技) 交流学习等を通し、近隣中学校等の生徒の様子を知ることができる。 (思判表力) 他校の生徒や初対面の人との自分なりの関わり方を考え、表現することができる。 (学・人) 互いのよさを生かしながら、積極的に他者と関わり合おうとすることができる。	(知・技) 交流学习等を通し、近隣中学校等の生徒の様子を知っている。 (思・判・表) 他校の生徒や初対面の人との自分なり関わり方を考え、表現している。 (主学) 互いのよさを生かしながら、積極的に他者と関わり合おうとしている。	地域や学校の特色に応じた課題 「交流・共同学習」 「居住地校交流（希望者のみ）」	・近隣中学校（美東中学校）との交流 ・他校との交流 ・居住地校交流
3 学期	4	(知及技) 自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知ることができる。 (思判表力) 現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かすことができる。	(知・技) 自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知っている。 (思・判・表) 現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 (主学) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取り組み」	・3学期の目標を設定 ・1年間の振り返りと評価 ・次年度へ向けての目標設定
	5	(知及技) 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けているとともに、地域の特徴やよさがわかり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付くことができる。 (思判表力) 仮説を立てたり、調べたりして得た情報を基に考えたりする力を身に付けているとともに、考えたことをまとめ・表現できる力を身に付けることができる。 (学・人) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。	(知・技) 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けているとともに、地域の特徴やよさがわかり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付いている。 (思・判・表) 仮説を立てたり、調べたりして得た情報を基に考えたりする力を身に付けているとともに、考えたことをまとめ・表現できる力を身に付けている。 (主学) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。	地域や学校の特色に応じた課題 「地域の中で自分たちができていることをみつけよう」	・自分たちが(貢献) できることについて話し合い、実践する。
留意点引継ぎ等					

令和5年度 中学部2年（Ⅱ課程 A グループ） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	・ iPad、スイッチ教材、パソコン、大型テレビ等	

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知・技) 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 (思・判・表) 交流及び共同学習を行ったり、地域の人々などと活動を共に共に行ったりする集団活動を通して生徒の経験を広め、自己実現や社会参画のための課題を見だし、解決に向かって取り組むことができる。 (学・人) 人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	14	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげることができる。 ②教師と協力して、落ち着いて測定を受けることができる。 ③学級や学部、生徒会の一員として集団に参加することができる。 ④事件や事故、災害等から身を守ることの大切さを理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 ⑤夏休みの過ごし方、規則正しい生活について考えることができる。	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 ②教師と協力して、落ち着いて測定を受けようとしている。 ③学級や学部、生徒会の一員として集団に参加しようとしている。 ④事件や事故、災害等から身を守ることの大切さを理解し、必要な行動の仕方を身に付けようとしている。 ⑤夏休みの過ごし方、規則正しい生活について考えようとしている。	①1 学期始業式 ①入学式 ②身体測定 ③遠足・校外学習 ③新入生歓迎会 ③児童生徒総会 ④火災避難訓練 ⑤夏休みの過ごし方 ①1 学期終業式	①儀式的のマナー（聞く態度、姿勢等） ②身体測定 ③学級や学部、生徒会の活動を通して、集団の一員であることを把握する。 ④避難の事前事後学習と実践 ⑤生活習慣の確認や見直し
2 学期	14	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげることができる。 ②学級や学部、生徒会の一員として集団に参加することができる。 ③事件や事故、災害等から身を守ることの大切さを理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 ④互いに協力をしながら、式や競技に参加することができる。 ⑤冬休みの過ごし方、規則正しい生活について考えることができる。	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 ②学級や学部、生徒会の一員として集団に参加しようとしている。 ③事件や事故、災害等から身を守ることの大切さを理解し、必要な行動の仕方を身に付けようとしている。 ④互いに協力をしながら、式や競技に参加することができる。 ⑤冬休みの過ごし方、規則正しい生活について考えようとしている。	①2 学期始業式 ②児童生徒会 ②宿泊学習 ③地震津波避難訓練 ④運動会 ⑤冬休みの過ごし方 ①2 学期終業式	①儀式的のマナー（聞く態度、姿勢等） ②身体測定 ③学級や学部、生徒会の活動を通して、集団の一員であることを把握する。 ④避難の事前事後学習と実践 ⑤生活習慣の確認や見直し
3 学期	7	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげることができる。 ②学級や学部、生徒会の一員として集団に参加することができる。 ③個人目標がどれだけ達成できたか振り返り、次の目標へつなげることができる。	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 ②学級や学部、生徒会の一員として集団に参加しようとしている。 ③個人目標がどれだけ達成できたか振り返り、次の目標へつなげようとしている。	①3 学期始業式 ②児童生徒会役員選挙 ②児童生徒会役員認証式 ②卒業生を送る会 ③一年間の振り返り ①卒業式 ①修了式 ①離任式	①儀式的のマナー（聞く態度、姿勢等） ②学級や学部、生徒会の活動を通して、集団の一員であることを把握する。 ③学級や学部での発表、儀式での挨拶など
留意点引継ぎ等					

